

**日本腹膜透析医学会 学術委員会**

**高齢者 PD プロジェクトアンケート調査結果報告書**

**委員長 宮崎正信(宮崎内科)**

## 1. 調査概要と患者の基本情報

### 調査概要

項目	内容
----	----

調査目的	本邦における Assisted PD（介助付き腹膜透析）の現状把握
------	-----------------------------------

調査対象	日本腹膜透析医学会施設会員 310 施設
------	----------------------

回収状況	回答施設：209 施設（回収率 67.4%）
------	------------------------

倫理的配慮	日本腹膜透析医学会倫理委員会承認済み（承認番号：JSPD2025-1）
-------	-------------------------------------

### 対象患者の年齢構成

項目	患者数	割合
----	-----	----

総患者数	4,854 名	100%
------	---------	------

65 歳以上	2,743 名	56.5%
--------	---------	-------

75 歳以上	1,486 名	30.6%
--------	---------	-------

---

## 2. Assisted PD（介助付き腹膜透析）の実態

### Assisted PD 患者数

項目	患者数
----	-----

Assisted PD 患者 全体	764 名（全 PD 患者の 15.7%）
-------------------	-----------------------

└ Full assisted PD（全面的介助）	358 名
---------------------------	-------

└ Partial assisted PD（部分的介助）	399 名
------------------------------	-------

### Assist の提供者

提供者	人数
家族のみ	317 名
家族と訪問看護師の両方	218 名
訪問看護師のみ	148 名
介護施設入所中	54 名
その他	25 名

### 介助を行う家族の続柄

続柄	人数
配偶者	214 名
子	135 名
親	25 名
その他（兄弟、孫等）	10 名

### 3. Assisted PD 導入の理由

導入理由	人数
認知症	319 名
筋力低下	200 名
長期臥床	37 名
四肢欠損・麻痺	23 名
視力障害	20 名
手指の問題（振戦・変形）	9 名
聴力障害	3 名
その他（知的障害等）	153 名

#### 4. 透析方法と治療内容

##### 接続デバイスと透析モダリティー

項目	種類	人数
接続デバイス	自動接合装置（デバイス）使用	556名
	手動接続	291名
透析モダリティー	CAPD（持続携帯式腹膜透析）	572名
	APD（自動腹膜透析）	273名

##### バッグ交換回数とサイクル数

CAPD バッグ交換回数   人数	APD サイクル数   人数	---   ---   ---   ---   ---	1	
回交換   66名	2 サイクル   22名	2 回交換   178名	3 サイクル   81名	3
回交換   170名	4 サイクル   96名	4 回交換以上   139名	その他   6名	

#### 5. 治療頻度と透析液使用量

##### 週あたり治療日数

日数	CAPD	APD
週7日	497名	162名
週6日	45名	36名
週5日	11名	11名
週4日以下	6名	2名

### 1 日透析液使用量の分布

使用量	患者数
1 日 2L 未満	64 名
1 日 2L～4L 未満	242 名
1 日 4L～6L 未満	218 名
1 日 6L～8L 未満	160 名
1 日 8L 以上	78 名

---

### 6. 介護保険制度の利用状況

項目	内訳・人数
介護保険加入状況	加入済み：427 名（57.9%） / 未加入：312 名（42.1%）
要介護認定	要支援 1・2：計 83 名
	要介護 1：65 名
	要介護 2：89 名（最多）
	要介護 3：71 名
	要介護 4：58 名
	要介護 5：45 名

---

### 7. 多職種連携と ICT 活用の実態（施設ベース）

#### 連携状況

連携先	ほとんど行っている	ときどき行っている	まったく行っていない
訪問看護師	74 施設	44 施設	20 施設
訪問診療医	14 施設	57 施設	68 施設
レスパイト施設	12 施設	57 施設	70 施設

## ICT 活用状況

ICT ツール	ほとんど活用	ときどき活用	まったく活用せず
遠隔モニタリング	40 施設	44 施設	54 施設
医療介護専用 SNS	23 施設	17 施設	100 施設

### 【主な知見】

- PD 患者の高齢化が顕著である（65 歳以上が 56.5%）。
- Assisted PD は全 PD 患者の約 15.7%に普及している。
- 導入の主因は認知症と筋力低下である。
- 配偶者を中心とした家族による Assist への依存度が高い。（やむを得ない事情で行っていると思われる）
- 自動接合装置の普及により、感染対策への配慮が進んでいる。
- 訪問看護師との連携は比較的良好に機能している。

### 【今後の課題】

- 訪問診療医との連携体制の構築が急務である。
- 介護者の負担軽減のため、レスパイト施設との連携強化が必要である。
- 未加入者への介護保険制度の活用促進が望まれる。
- 医療介護専用 SNS など、ICT ツールの普及による情報共有の効率化。
- 地域包括ケアシステムの中での多職種連携体制の充実。